

板妻駐屯地で「自衛官候補生入隊式」

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己1等空佐）は、4月7日（土）、陸上自衛隊板妻駐屯地（御殿場市）に所在する、第34普通科連隊で実施された「平成30年度自衛官候補生課程入隊式」に激励を兼ねて参列した。

今年度は、静岡地本から入隊した33人を含めた91人がこの日を迎え、紫紺の新制服に身を包み、緊張した面持ちで式に臨んだ。

御殿場市長、裾野市副市長、小山町副町長、静岡県防衛協会副会長らを来賓に迎え、静岡地本からは坂下仁志副本部長が参列。多数の家族が見守る中、粛々と式が挙行された。

執行者である第34普通科連隊長・山之内竜二1等陸佐は教育に臨むにあたり、「昨日の自分より今日の自分がより強くあれ」「仲間と自分を大切にせよ」「規律を重んじ自ら統制に従え」と3点を要望した。入隊者は自衛官としてこれから歩む日々を思いを馳せ、真剣な面持ちで聞き入っていた。

静岡地本は、今回入隊した若者たちが3ヶ月間の教育を終え、立派な自衛官になることを期待している。



紫紺の陸自新制服で決意を新たに入隊

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己1等空佐）は、4月7日（土）、陸上自衛隊板妻駐屯地（御殿場市）で行われた「平成30年度自衛官候補生課程入隊式」に参加した。

これは、昨年度実施された自衛官候補生採用試験に合格し、平成30年3月29日付で第34普通科連隊に教育入隊した隊員の入隊式であり、静岡県から入隊した33人を含む91人が盛大かつ厳粛に行われた入隊式に臨んだ。

当日はやや風が強く桜が舞う中、3月27日に導入された紫紺色の陸自新制服に身を包んだ自衛官候補生が体育館に入場すると、家族などから大きな拍手が沸き起こっていた。

板妻駐屯地司令・山之内竜二1等陸佐は「幾多の職業の中から自衛官を志願した、勇気ある気高い決断に敬意を表する。まずは自らを鍛え、仲間を大切に、規律を厳守して、持てる限りの力を振り絞って約3ヶ月間の教育を頑張ってもらいたい」と激励した。

式典後は、それぞれの家族が我が子と記念撮影をする姿も見られ、その後隊員食堂に移動して記念会食が行われた。記念会食は、静岡地副本部長・坂下仁志事務官の激励挨拶のほか、板妻駐屯地所属「たちはな太鼓」による激励の和太鼓演奏もあり、終始和やかに行われた。

入隊者は「無事入隊式を迎えることができ安堵している。今日からが本番なので精一杯頑張りたい」「明日から徐々に訓練が厳しくなると思うが、楽しみ」などとそれぞれの決意を述べていた。

静岡地本は、今後も県内入隊者との連携を密にし、教育隊卒業後も部隊で活躍する隊員と地域との懸け橋となってその成長を温かくサポートしていく。

